

1. 主催者挨拶



日本証券業協会
会長 稲野 和利

本フォーラムは、東京市場の国際金融センターとしての地位確立に向けた取組みの一環として、我が国社債市場の活性化に向け、市場関係者の方々に社債市場への認識をより深めていただくことを目的に開催するものである。

我が国の社債市場をより厚みのある市場にすることは、我が国金融資本市場ひいては我が国経済の活性化に大きく貢献するものであり、また、今後成長の著しいアジア諸国の中において、我が国市場がアジアナンバーワンの国際金融センターとしての地位を確立していくためにも必要不可欠であると考えます。しかしながら、我が国の社債市場は、発行残高や売買高、また発行企業の偏りからも分かるとおり、その厚みは十分とは言えず、円滑な資金調達という点では、その機能が必ずしも十分に発揮されてこなかった。このような問題意識の下、本協会においても 2009 年に「社債市場の活性化に関する懇談会」を設置し、幅広い関係者の方々に精力的にご議論いただき、一步ずつではあるが、その解決に向け取り組んでいる。

本日のフォーラムでは、これまでの「社債市場の活性化に関する懇談会」における取組みの報告はもとより、基調講演では金融庁総務企画局の長谷川審議官より、当局の社債市場に対する考えを、また、専門家の方々からは、マイナス金利政策の導入等の昨今の社債市場を取り巻く環境変化がもたらす我が国社債市場への影響や海外の事例を踏まえた我が国社債市場への示唆等について講演いただき、後半のパネルディスカッションでは、有識者や市場関係者の方々に、それぞれの立場から今後の社債市場の展望等について幅広く議論をいただく予定である。

本日の講演や議論を通じて、各市場関係者の皆様の知見や問題意識が共有され、社債市場の活性化に向けた取組みがより一層進むことを期待している。